

北信越ブロッククラブネットワークアクション 2019 開催報告

日 時： [1 日目] 令和元年 11 月 16 日 (土) 13:00 ~ 17:20

[2 日目] 令和元年 11 月 17 日 (日) 9:00 ~ 11:50

会 場： にぎわい交流施設ハピリンホール (3 階 多目的ホール)

テ ー マ： 「総合型クラブの多様性を探り、可能性を見出そう！」

内 容： [1 日目]

1. 共通プログラム「総合型クラブ登録・認証制度の創設に向けた情報共有」
2. 事例発表「登録・認証制度 新潟県事例発表」
3. 事例発表「マルチマーケット」

[2 日目]

1. グループディスカッション「スポットマーケット」
2. 全体発表「シェアマーケット」

参 加 者： 152 名

【概要】

今年度はたくさんの方にご参加いただくことを考え、楽しい空間とすること、多様なテーマを設けること、たくさんの方の出番を創ること、特に開催県である福井県のクラブの発表機会を創ること、この 4 点に注力しました。

マーケットという舞台設定をし、1 日目は【マルチマーケット】で様々なテーマ全 21 ショップ（発表ブース）から自分の欲しい商品（情報）を 3 回のタイムセールで 3 つ、購入（受講）する形としました。購入した商品については「気づき&ひらめきレシート」に書き込みました。

2 日目は【スポットマーケット】として、前日購入した 3 つの商品の中から 1 つを選択し、深掘り（グループディスカッション）し、「まとめレシート」を作成しました。

最後は【シェアマーケット】でそれぞれ話し合った内容、結論の発表を行い、情報共有して、購入した商品を持ち帰ってから、クラブ運営に活かしていくことを目的として開催しました。シェアマーケットでは、今すぐ実行できること、少し背伸びをすることができること、そのための課題などについてまとめました。

2 日間を通じて、事を起こすにあたってストーリー（妄想）を作り、成功のイメージを持ち、全景を見渡し、活用できる機会を見つけ、先行（アクション）し、さらに実績をアピール（パフォーマンス）することを、クラブ側から提案していくことが大事であるとまとめました。

また、クラブ関係者が一番気になっているであろう、「総合型クラブ登録・認証制度」についても、昨年度スポーツ庁委託事業の中でモデル事業として登録・認証制度を試行した新潟県の事例発表を実施したことで皆さんの理解を 1 歩前進することができたのではないかと思います。

福井県の多様なおもてなしもあり、当初考えた「楽しく」を実現させることができたのではないかと思います。

また事例発表者の選出にあたり、開催県のみならず、5 県全県で共通認識のもと取り組むことができたと思います。

運営面においても ONETEAM で取り組めたと感じております。

結果、当ブロック過去最高の参加者となりました。

次年度もその勢いで更なる参加者増につながればと思います。



【開会式でのアトラクション】

【内容】

[1 日目]

共通プログラム「総合型クラブ登録・認証制度の創設に向けた情報共有」

実行委員長より、「登録・認証制度が検討されることとなった背景や必要性」について説明を行いました。総合型クラブが公益的な取組を実施するために必要な要素について、行政とクラブが共に取り組んでいかなければならないことを説明しました。行政側の課題として、行政職員の異動に伴う理解度の低さ、総合型クラブの課題としては、質的向上に向けた自己点検・評価の実施率も低いということがあります。

そこで「行政理解の促進」と「クラブの質的充実」を目指すために「登録・認証制度」を上手く活用していけるとの説明がありました。また、「登録・認証制度」の必要性について、クラブ・日本スポーツ協会・第2期スポーツ基本計画の3つの立場から説明し、今回の制度を基に、クラブ・行政・体育・スポーツ協会・連絡協議会もやるべきことをやっていくことで四者それぞれにメリットが生まれると説明しました。

その後、日本スポーツ協会から「登録・認証制度」の原案について説明があり、登録・認証制度原案に対する意見聴取の結果、今後検討される部分についても詳しく聞く事ができました。皆さんの意見でこの制度が創られていくことを感じていただけたでしょうか。

また、登録基準について説明後、運用開始について移行期間を設定して対応する考えや、登録申請から登録認定までのフローチャート、登録料についても説明がありました。

後半の時間については、質疑応答ではなく、意見交換を実施し、以下のような意見をいただきました。

- ・賠償責任等 クラブを守る制度なのか
- ・中間支援組織が一番機能しなければならない
- ・行政の認知度アップは市町村議会議で
- ・市町村のスポーツ振興計画に組み入れる
- ・市の総合型クラブに対する理解度の無さが課題
- ・2021年度より運用できるのか

登録・認証制度は皆さんで意見を出し合い、みんなで創る制度であることを説明しました。

事例発表「登録・認証制度 新潟県事例発表」

昨年度スポーツ庁委託事業において、モデル事業として登録手続きを試行・検証した新潟県の事例について下記の内容で発表を行いました。

- ① 「新潟県総合型クラブの指針」とは
- ② 「新潟県総合型クラブの指針」7つの基準
- ③ 自己診断シート
- ④ 「申出」とは
- ⑤ 背景・きっかけ
- ⑥ 「新潟県総合型クラブ」のイメージ
- ⑦ 策定のプロセス
- ⑧ クラブへの支援や期待される効果
- ⑨ 新潟県版プロジェクト実施概要
- ⑩ 新潟県版モデル策定・試行・検証のまとめ



新潟県が実施している申出制度では、新潟県総合型クラブの指針策定にあたり、丁寧にクラブの声を反映し策定のうへ、申出が申請方法として取り入れられました。そして実際試行、検証してみてもの利点や課題などを発表いただいたことで、「登録・認証制度」の説明がわかりやすくイメージできたのではないのでしょうか。

事例発表「マルチマーケット」

マーケットという設定で、多様なショップ（事例発表ブース）で自分の欲しい商品（情報）を購入（受講）していただきました。

7つのテーマについて3回のタイムセールを行い、21ショップ（クラブ）の事例発表でした。

申込時に希望の3ショップを選んでいただき、気になったことを「気づき&ひらめきレシート」に書き込んでもらいました。

事例発表者の選出については、開催県の福井県から半数、残りを4県で分担しました。

| ショップ名 | タイムセール1 15:30～16:00 | タイムセール2 16:05～16:35 | タイムセール3 16:40～17:10 |
|--------------------|--|--|---------------------------------------|
| 子どものプログラム いろいろ | ①ふくいスポーツクラブ 福井県 「バルシューレ」 | ②木曽ひのきっ子ゆうゆうクラブ 長野県 「ふれあい・声かけ・リズム」 | ③クラブアルタス 福井県 「保育所ボール遊び教室」 |
| 総合型は部活動で 何ができるか | ④田鶴浜スポーツクラブ 石川県 「部活がクラブ会員」 | ⑤さばえスポーツクラブ 福井県 「鯖江市3クラブの話し合い」 | ⑥SEIBU スポーツクラブ 富山県 「スポーツスクール設立」 |
| 第2世代を育てよう | ⑦クラブパレット 石川県 「マネジメントスタイル」 | ⑧おやバススポーツクラブ 富山県 「ヤマメの物語」 | ⑨いしかわクラブゾーン 石川県 「中間支援組織」 |
| これからの介護予防を 考える | ⑩ウェルネスむらかみ 新潟県 「男性の社会参加」 | ⑪あわらトリムクラブ 福井県 「行政・社協とのタイアップ」 | ⑫ひすいスポーツクラブ 富山県 「高齢者の社会参加」 |
| 行政との関係を探る | ⑬宝達志水スポーツクラブ 石川県 「委託事業・協働事業・新規事業」 | ⑭スポーツクラブあらい 新潟県 「行政とクラブの共通メリット」 | ⑮池田スポーツクラブ 福井県 「地域課題解決の一役」 |
| 障がい者スポーツ教室 いろいろ | ⑯おい町障がいスポーツクラブ 福井県 「障がいの軽い方の「競いたい」」 | ⑰安曇町総合型クラブ スポネット常念 長野県 「ポッチャ通年教室」 | ⑱UNITIVE291 福井県 「放課後支援」 |
| 新規（独自）事業 教えます | ⑲スマイ輪 ING 福井県 「トレーニングを中心とした 総合型クラブ」 | ⑳ユースポ 新潟県 「湯沢のプナ誘いプロジェクト」 | ㉑みんスポ 福井県 「小学生のための吹奏楽部」 |



[2日目]

グループディスカッション「スポットマーケット」

1日目に3つのマルチマーケットを巡った結果、さらに深掘りしたいショップ（テーマ）を1つ選択し、さらに中身の濃い意見交換を行いました。

すぐ実行できそうなこと、少し背伸びをしてできること、そのための課題は何かなどについて話し合いました。以下、ショップの、「必ず実行する」「背伸び」としてでてきたキーワードをまとめてみました。

【子どものプログラムいろいろ】

- ・幅広い選択肢
- ・子育て支援との連携
- ・子どもが運動好きになるための多様な組織と連携できる環境作り

【総合型は部活動で何ができるか】

- ・部活動と地域の活動の切り分け
- ・保護者も会員になってもらう
- ・学校の先生もスポーツクラブ会員に！

【第2世代を育てよう】

- ・第1世代のカリスマ
- ・人を巻き込む機会を増やす
- ・コンセプトが大切！

【これからの介護予防を考える】

- ・結果を出す！
- ・介護予防の次のステップ…卓球、テニスなどスポーツに挑戦！

【行政との関係を探る】

- ・クラブの理念の確認
- ・行政とのコミュニケーション
- ・行政の仕組みを理解
- ・地域で「足りないもの」を探す
- ・行政の計画に沿った形で事業提案

【障がい者スポーツ教室いろいろ】

- ・サポートクラブを立ち上げて障がい者スポーツを支援
- ・スポーツをやりたい障がい者の送迎を考える
- ・支援する人の確保と行政の支援

【新規（独自）事業教えます】

- ・自然を絡めたイベント
- ・専門的な知識を持った人材
- ・剣岳トレッキング（外国人向け）
- ・室内練習場の建設



全体発表「シェアマーケット」

全ショップ（テーマ）について全体シェアを実施することで、参加をしていないショップの情報も共有することができました。1ショップ6分間で内容をまとめたうえでの説明を行いました。その中でのキーワードは以下のとおりです。

- ①多様な分野（行政・団体・企業等）との関係構築
- ②人とのつながり
- ③人を巻き込む機会創出
- ④クラブの目指すものは変化する
- ⑤視点を変える
- ⑥足りないものを探す

これからの活動においてヒントとなるまとめとなりました。

ぜひアクションを起こして下さい！

また少し背伸びも考えてみましょう！



【まとめ】

今年度から実行委員長を務めさせていただき、この北信越ブロックにおける「意思疎通、共感、一体」を心に置き、計画させていただきました。

まずは当初注力した、楽しい空間とすること、多様なテーマを設けること、たくさんの方の出番を創ること、特に開催県である福井県のクラブの発表機会を創ることについて実行することができました。

北信越ブロックでは過去最高、全国ブロックでも九州に次ぐ参加者数となり、たくさんの方の参加をいただいたことでモチベーションも上がり、熱い2日間となりました。

またタイトなスケジュールではありましたが、多様なテーマについて情報収集、意見交換でき、「何か1つ持ち帰る」ことができたのではないのでしょうか。

次なる目標は、若い世代を巻き込むことを意識し、次年度計画に入ります。



【会場の様子】



【朝の目覚めエクササイズ】



【終了後の実行委員会】

(北信越ブロックネットワークアクション実行委員長 渡邊 優子)

※本ネットワークアクションは、東京2020応援プログラム(スポーツ・健康)として実施しました。

